

更埴公民館運営協議会分館役員研修会

更埴公民館運営協議会分館役員研修会を6月4日(土)に坂城町中心市街地コミュニティセンターで開催しました。

講演会では、松本市入山辺公民館長の小笠原鉄夫さんを講師に「住んでみたい・

訪れてみたい入山辺を目指す住民主体の地域づくり」と題してご講演いただきました。入山辺地区で取り組まれている、活気ある地域づくりを目指した活動について、具体的な事例をもとにご説明いただきました。

また、現地研修では、鉄の展示館、坂木宿ふるさと歴史館、文化財センターを巡りました。旧北国街道坂木宿など坂城の歴史について、みなさん興味深く説明を聞いていました。



500字リレートーク 親愛なる友へ

飯田 美名

私は県外から5年前に坂城町に移ってきました。少しずつ知り合いや友人を増やし生活に慣れ、坂城の自然を楽しんできた中でやってきたディスプレイス生活。

もともとインドアなので最初は大変でないと思っていました。でもこれが数か月、半年、一年と続けば話は変わります。

そんな中で坂城町周辺の自然(バラ公園、川沿いの桜並木等)は、私の荒む気持ち落ち着かせてくれました。

でもやっぱり人と話したいと思う時もあります。それで離れている友人達に久しぶりに連絡を取りました。その中には十八年ぶりの友もいます。「丁度人恋しかったです」と互いに話が尽きず良い時間でした。昔の格言に「良い報告は、疲れた人にとつての冷たい水のように」

とありますが、気心の知れた友との話はお互いをリフレッシュさせてくれるものだと思えました。これからも彼女との友情関係が続くことを願っています。

「人との距離は保つても、心の距離は置かない。」そんなフレーズを目にしましたが、そのためには自分から一歩相手に歩み寄る事が必要です。でもこれがなかなか難しい。これから少しずつこの坂城町で心通える友を増やせるようにしたいと思います。

次は、濱崎千栄子さんです。

